

## プロジェクト別損益管理システム「ActualPRO」

## Project Profit and Loss Management System, “ActualPRO”

## 1. はじめに

ActualPRO\*とは、JFEエンジニアリンググループ会社向けに開発した「グループ経理共通システム」をベースに、製造業やエンジニアリング、建設業、システムインテグレータ、サービス業など、個別受注型企業の業務を業種別にテンプレート（雛型）化した、エクサが一般企業向けに展開している基幹業務系ソリューションである。

個別受注型企業の特徴である「個別原価計算」を中心として、「オーダー情報管理」、「調達管理」、「時数管理」、「人事情報管理」、「債権管理」、「会計決算」、「プロジェクト予算管理」、「マスター管理」の10個の基本モジュールで構成されている。(Fig. 1)

また、業種別テンプレートにより、フィットギャップ分析からサービスインまで、6ヶ月での短期導入が可能である。

## 2. 基本コンセプト

## 2.1 きめ細かなプロジェクト別の損益管理が可能

財務費目単位（材料費、労務費、外注加工費、経費など）によるコスト管理だけでなく、プロジェクトごとの実態に合わせた予算管理単位を自由に設定できる仕組みを用いている。これにより、従来の財務費目による実績情報を予算管理単位に組み替える作業をなくし、予算管理の効率

化を実現するとともに、プロジェクト別損益管理の徹底を実現可能としている。加えて、プロジェクトのプレサービスから納入後のアフターサービスまでをオーダーのステータスとして捉え、プロジェクト一貫損益の把握を可能としている。

## 2.2 日次での実績情報の把握が可能

実績収集、原価計算から会計の締め処理までを、月次での財務実績確定処理を待たずに随時行うことができる。これにより、発生源での実績入力情報が即日プロジェクト管理情報に反映され、プロジェクト管理者にとって、実績の早期把握を可能にしている。加えて、これらプロジェクト管理に必要な情報は「情報検索」機能によりいつでも容易に取り出すことが可能で、管理目的に沿っての検索条件の指定や、抽出後の編集・加工・保管も行えるようにしている。

## 3. ActualPRO の基本機能概要

## 3.1 販売管理系の機能

主に営業担当の方が利用する機能として、「オーダー情報管理」「請求・債権管理」がある。お客様からの受注内容（契約仕様など）の登録から納品後の売上処理、請求書発行、および請求に対する入金の消し込みを行う機能である。特に入金消し込み処理に関しては、契約情報、売上情報、請求情報より自動生成された入金予定情報をベースに、システムによる案件別自動消し込みを行うものである。

## 3.2 プロジェクト管理系の機能

「プロジェクト予算管理」では、「オーダー情報管理」でのオーダー登録と同時に採番されるプロジェクト番号単位での予算管理が可能となっている。また、この機能では受注案件以外（保証工事、設備工事、研究開発費など）として登録されたプロジェクトに関しても、受注案件と同等の予算管理が可能である。

## 3.3 調達の機能

プロジェクトに必要な機器、材料、外注の調達処理を行うのが「調達管理」である。各部門の担当者からの調達要求入力から調達担当者の見積り、ネゴ、発注処理、検収処理、および検収後の買掛金計上、残高管理、支払い管理の機能を保有している。また、在庫を抱える企業向けには、

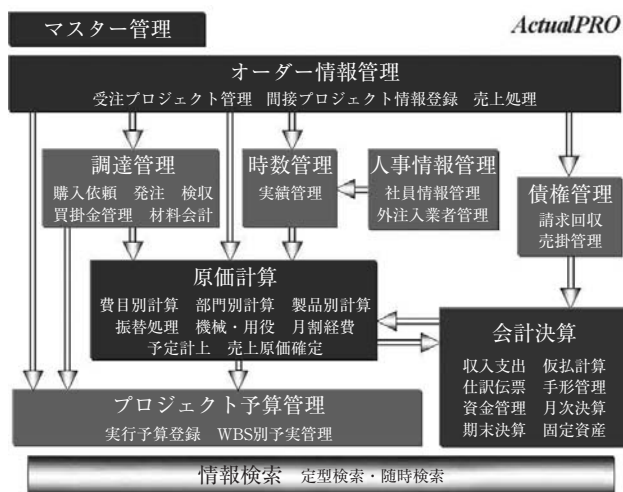


Fig. 1 ActualPRO functional block diagram

\* ActualPRO は、(株) エクサの登録商標である。

材料の入在庫管理、在庫管理、棚卸しを行う「材料会計」機能を保有している。

### 3.4 原価計算機能

「原価計算」では、個別受注型企業の特徴である個別原価計算制度を標準で採用している。発生源から収集した実績を費目別、部門別、製品別（プロジェクト別）に計算し、必要に応じて間接部門費の配賦計算を実施した後、プロジェクト別の原価実績を売上処理と連携し、「仕掛品」と「売上原価」を自動認識して把握・蓄積する。

配賦計算は、間接部門費として収集された実績を、あらかじめ設定された配賦基準に従い製品原価他に配賦する。配賦方法については、フロア面積比など、あらかじめマスターの設定をするものと、工数（作業時間）比、売上高比といった当月の実績値による処理も選択可能にしている。また、これらの原価計算結果は、仕訳伝票を自動的に生成して、「会計・決算」へ連結される。

### 3.5 財務処理機能

財務会計処理の機能としては「会計・決算」の機能があり、入出金、振替伝票の登録および財務諸表の出力が可能となっており、それぞれの上流システムから自動作成される仕訳伝票情報をシームレスに連携し、随時、日次での締め処理を行うことができる。

また、これらの会計処理をサポートする機能として、「仮払い費用管理」、「固定資産管理」、「手形管理」、「ファームバンキング用振込データ作成」といったサブ機能も用意されている。

## 4. おわりに

お客様とグループ会社を合わせて、20社以上の導入実績があるが、基幹業務系ソリューションとして、さらなる付加価値向上を目指して、以下の項目について機能アップを実行中である。

### 4.1 日本版 SOX 法への対応

現時点ではまだ正式な発表がなされていない段階だが、会社の内部統制をシステムとしてサポートするための機能を、すでに導入済みの米国版 SOX 法を参考に対応中である。

### 4.2 最新技術への対応

発生源入力徹底のための Web 対応版を準備しており、要望があればいつでもリリース可能な段階に至っている。加えて、より低価格化を目指しての Linux\*\* 対応、および他のデータベースソフト対応も視野に入れた開発を実施中である。

#### 〈問い合わせ先〉

エクサ

製造・流通システム営業部 TEL：044-540-2318

製造・流通システム第1開発部 TEL：045-505-7373

URL：http://www.exa-corp.co.jp/

E-mail：actualpro@exa-corp.co.jp

\*\* Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標または商標である。